

いつでも、どこでも、
安心・安全なまちづくりを目指します。

こんにちは、市議会議員の相原かずゆきです。平成30年 習志野市議会 第三回定例会及び、平成29年度 決算委員会が昨日終了しました。今回の市議会では、小中学校へのエアコンの問題が、多くの議員から取り上げられ議論されました。また、習志野市議会議員発議により全員賛成で来年6月までにすべての小中学校 普通教室へのエアコン設置を求める発議案が可決されました。次に、公共施設のブロック塀の総点検により改修工事に取り組む予算が計上された補正予算も、全員賛成で可決されました。次に、私の一般質問では、災害時（非常時）の飲み水の確保や防犯抑止力の強化をはじめ、商店街の賑わいの創出や旧庁舎跡地の土地利用や第一中学校区の児童の推移などについて質問をしました。その一部を裏面で紹介いたします。詳しくは、インターネット上の習志野市議会 議会中継などでもご覧いただけます。今年、台風による塩害の影響で紅葉しないまま葉が散ってしまった地域が多いと思います。これからは、空気の乾燥などで、風邪をひいてしまう方も増加すると思いますが、帰宅した際には、手洗い・うがいで風邪予防をしてお自愛ください。

■所属会派	輝く習志野をつくる会
■所属委員会	都市環境常任委員会(委員長)
■所属審議会	習志野市青少年問題協議会 習志野市いじめ問題対策連絡協議会 長期計画審議会

プロフィール

●昭和46年10月 誕生 ●習志野市立鷺沼保育 ●習志野市立鷺沼小学校 ●習志野市立第三中学校
●千葉県立船橋古和釜高等学校 ●東洋大学 経営学部 経営学科 卒業 ●平成22年10月印刷会社 退職
●平成23年4月習志野市議会議員(初当選) ●平成27年4月習志野市議会議員(2期目当選)
スポーツ・趣味 所属団体
●剣道 ●バスケットボール ●書道 ●映画鑑賞 ●習志野市消防団 第三分団 ●習志野市青少年相談員連絡協議会

習志野市議会議員 相原和幸 連絡先 〒275-0014 習志野市鷺沼1-11-14 自宅Fax: 047-453-2918
携帯電話: 090-2478-7979 e-mail: aihara1002@outlook.jp ホームページ <http://aihara1002.com/>

防災対策について

(質 問) 災害時(非常時)の飲み水の提供についてどのように考えているのか

(回 答) 発災当初における飲料水の確保は、家庭や地域での自主的な備蓄で対応していただくことを基本としており、必要に応じて市の防災倉庫の備蓄飲料水を活用することとしている。また、非常用給水施設として、3カ所の給水場及び4カ所の自家発電付井戸、2カ所の耐震性井戸付貯水槽を設置している。これらにより、災害時に必要な水量の目安となる1人1日3リットル、17万市民の20日分以上の飲料水を確保している飲料水の提供方法につきましては、習志野市企業局が中心となり、これら確保している水源等を有効活用し、拠点での給水を原則とした応急給水を行う。また、千葉県水道局や関係機関とも協力・連携し、災害の状況に応じて運搬給水や仮設給水など、必要な給水体制を確保していく。さらに、災害時の応急給水拠点として、避難所に指定している小中学校23校のうち、受水槽に直接蛇口が取り付けられる18校については、取り付け工事を行い、直接応急給水ができるようにしている。このように、備蓄飲料水や非常用給水施設において飲料水を確保している上、提供に必要な体制も十分確保していると考えている。

(質 問) 習志野市は給水車を保有しているか。

(回 答) 習志野市企業局では飲料水容量が2000リットルの加圧式給水車を1台保有し、医療施設及び重要施設等の受水槽などの高い場所、あるいは離れた場所へも給水することが可能だ。そのほか、飲料水容量が1000リットルのアルミ製給水タンクを4基保有しており、トラックなどに積み込んで使用する事が可能であり、災害時など最大5カ所において給水対応することが可能となっている。

(要 望) 県水エリアにも給水車(設置)購入を検討してもらいたいと要望した。

防犯対策について

(質 問) 犯罪抑止力の向上につながる防犯カメラ・防犯灯の設置状況はどうか

(回 答) 平成30年3月31日現在で148台となっている。設置場所は、ひたたくり対策重点区域である花咲地区、藤崎地区の路上をはじめ、駅前駐輪場、JR津田沼駅前広場エレベーター内や、こども園及び各学校への設置の他、新たに市庁舎に防犯カメラを設置している。次に、夜間に誘発される犯罪の抑止を目的に設置する防犯灯の設置状況は、平成30年3月31日現在で8,589灯設置している。

(質 問) 公用車のドライブレコーダーの設置状況(設置率)はどのくらいか。

(回 答) 平成30年8月末日現在、車両、202台中、53台で、設置率は約26%。

(質 問) ドライブレコーダーの設置率について、100%を目指す考えがあるのか。

(回 答) ドライブレコーダーは、事故が発生したときの画像が事故解決につながることや市民の防犯対策にも効果があるものと考えておりますので、全車両に搭載をしていきたいと考えている。

(要 望) 防犯カメラは、固定型として機能を果たせるものと感じるが犯罪抑止力は、移動型で地域の隅々まで届かせる必要があると考える。そこで「防犯日本一を掲げ習志野警察とも連携をはかり企業局をはじめ、市内の企業等にドライブレコーダーの設置及び犯罪発生時の情報の提供を進めるべきと要望した。